

品質への自信を裏付ける国産材料と自社伸線。冷間ホーマーナットで多様な産業分野に貢献。

昭和40年に冷間ホーマーナットの製造をスタートさせ、品質への徹底したこだわりを形にしてきたナットの専門メーカー。国内産の材料を自社で伸線するのも、自信を持って提供したいとの思いからだ。近年は、ボルトのメーカーと共に同ドオリジナル製品も開発。ナットの新たな可能性に目を向け、ニーズ開拓に尽力している。

冷間ホーマーとベントタップで 高精度の製品をスピード的に量産。

ねじは「産業の塩」とも呼ばれ、日本のものづくりを支える重要なパートだ。品質トラブルは信頼の失墜に直結するため、メーカーにとって品質の向上と安定は大きなテーマとなっている。東和工業株式会社が冷間ホーマー(冷間圧造機)を導入したのも、安心・安全な製品を安定して顧客に届けるため。冷間ホーマーは、コイル状の材料を常温で連続的に加工できることから、材料ロスが少なく、精度の高い製品をスピーディに量産できる。同社ではさらに、一方通行で切削するベントタップでねじを切り、納期短縮を実現させていている。業界内では材料を伸線業者から購入するケースが多いが、同社では製鋼メーカーから国産の材料を直接仕入れ、工場内で六角や四角に伸線。加工性の高いうちに使い切るようしている。

平成16年にはISO9001を取得し、ソフト面



コイル状の線材を伸線

堺技衆 認証番号0112



代表取締役社長 中谷 成智さん

東和工業 株式会社

〒592-8352

堺市西区築港浜寺町7-20

TEL 072-268-0236

創業 昭和19年10月

資本金 4,800万円

従業員 30名

<http://www.towa-kogyo.net/>



東和工業 株式会社 本社・工場



冷間ホーマーのセットアップ作業

ともに、労働災害も半減したという。また新人教育に関しても、その手順や期間を明文化し、担当者が交替しても同じプログラムで進められるようになつた。「当たり前のことを

当たり前にすること」が、信頼につながります。今後も当たり前にこだわっていきたい」と中谷社長。「ISOはそのための良いきっかけになつた」と振り返る。

あらゆるオーダーに柔軟に対応。
ボルトメーカーと共同で開発も。

主力製品は、JIS規格の六角ナットや四角ナッ



トの標準品だが、その仕様はさまざまだ。例えば六角ナットの場合、サイズはM10～M24で、並目・細目、右ねじ・左ねじ、さらにはウェーブねじ、ユニファイなど、用途に応じた製品を提供している。異形ナットをはじめとするオリジナル品のオーダーにも、冈面からきめ細かく対応。ボルトと組み合わせた製品も、専門のメーカーと協力しながら製造する体制をとっている。

協力会社とともに開発したオリジナル製品にも力を入れているところだ。仮止め用の「ゼスナー」は、工具を使用せずに絞めたり緩めたりが容易にでき、型枠などの組み外し作業のスピードアップに貢献。厚手の手袋を付けてままで、冷水でも作業しやすく、人手不足に悩む建設業界を中心に入手不足に悩んでいる。また、その手順や期間を明文化し、担当者が交替しても同じプログラムで進められるようになつた。「当たり前のことを

当たり前にすること」が、信頼につながります。今後も当たり前にこだわっていきたい」と中谷社長。「ISOはそのための良いきっかけになつた」と振り返る。

「無機質な生命体である機械を動かすのは人間。それだけに人材育成は大きな課題です。そのため将来に夢を描ける、魅力ある職場づくりをしていきたい」。中谷社長の頭には、すでに発展への設計ができるいるのかも知れない。